

私の日本二百名山・ 各県最高峰完登

祝
日本二百名山完登
ペテカリ岳
2010年9月20日
神戸・瀬川 滋

ペテカリ

瀬川 滋

百名山完登達成

(平成9年10月11日)



蓼科山

2002年

日本

二百名山

挑戦を

決意

情報と通信研究会HP

2002年に登った「日本二百名山」

瀬川 滋



(1) 5/28 武甲山 (埼玉、1295m) No.23



山仲間の重鎮が秩父に持たんだからどこか登ろうという秩父の入り口だけあって、さ神社にたどりつく。神社の裏結果出来た人口の断崖があこうには秩父の山々が連なされたかわいいそうな山だとい

(2) 8/3 大天井岳 (長野、2922m) No.24

2組の販売店の社長夫婦を中心にした山行仲間と常念一燕を縦走しようということになり、6人ボタクシーに。登山口から常念小屋に登り詰めたら、ガスの向こうに穂高の山塊が開ける。夜雨



そして眼前(広がる。周囲全てが見渡のように、心無の空にくっくサ始め小

日本二百名山

深田氏の遺志を受け継いだ「深田クラブ」によって
同クラブ創立10周年を記念して1984年に選定した
準百名山とも言うべき山

百名山より低山が多い

交通不便

小屋等の設備が不十分

道標・道が不明確が多い

登山不可・困難な山もある

静寂

(雪の蒜山頂上)



登山困難な二百名山

火山活動で山頂が登山禁止

樽前山, 渡島駒ヶ岳, 桜島

山頂往復に時間がかかる

赤牛岳, 上河内岳, 農鳥岳

白石山, 大無間山, カムイエクウチカウシ山

ペテガリ岳, 暑寒別岳, 笹ヶ岳, 池口岳, 雪倉岳

岩場や沢登り技術が必要

カムイエクウチカウシ山, 御神楽岳, 八海山,

妙義山, 鋸岳

登山道が無い

笹ヶ岳, 毛勝岳

・帝釈山で落雷事故にニアミス

福島民報(7月24日)

落雷、1人死亡5人けが
南会津・帝釈山

登山パーティー直撃
けが人6人に／帝釈山落雷
「山頂で天候急変」



山溪 2004/10号

7月24日、帝釈山・落雷の恐怖

瀬川記録と山溪記事との対比

	瀬川			湯山の会 (被雷G中心)		
	着	発		着	発	
猿倉	—	11:25	快晴	—	11:00	18人で出発
小田代	12:10		快晴	12:00	12:25	昼食、周囲ガス
田代山頂	12:30	12:45	昼食、ガス出始める	—		
避難小屋	(12:55)			13:05	13:10	曇、3人小屋待機
帝釈山頂	13:40		晴、周囲ガス	14:15		コーヒー煮沸、遠雷
	—	14:00	一面ガス、遠雷	—	(14:33)	雨、先行7人下山開始
被雷地	—			—	14:37	豪雨、8人下山開始
	—			14:45	15:00	立木落雷側撃雷
—	(14:30)		雨具着用	—	15:00	リーダー出発
避難小屋	(14:40)		稲妻	15:25		携帯で救助要請
	—			15:40		リーダー到着
田代山頂	14:50		ピカゴロ	—	17:45	下山班・救援班出発
湿原入口	(14:55)		ピカバリ			
小田代	(15:05)		約15人追越し			
猿倉	15:30			19:15		下山班救助隊と合流

No.200 北海道 ペテガリ岳 (1736m)

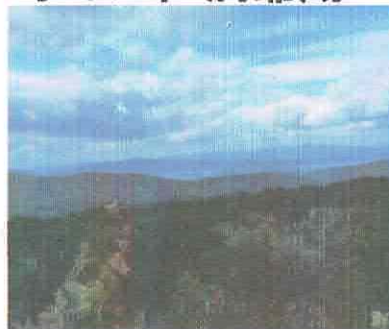
'10年9月20日



白高・競走馬飼育



オロフレ峠・洞爺湖



登別・大湯沼



クッタラ湖



白老・アイヌ部落



(もう1人の百名山
達成者との合同祝賀会)

木尾雅晴氏百名山、瀬川滋氏二百名山 達成記念祝賀会

200山達成に
百名山達成から
二百名山を意識してから

48年間(200座)
13年間(86座)
8年間(78座)



達成記念祝賀会

10. 10. 24

東京。赤坂にて

日本二百名山踏破認定書

瀬川 滋殿

貴殿は、平成九年、日本百名山達成後、更に憧れの彼女を二百名山に絞り、十三年の歳月を費やし見事に全山登頂を果たされました。

この間家庭サービスも顧みず忙しい仕事の間を見つけては、まだ見ぬ彼女を追い求め一つ一つ踏破し、最後に北海道日高山脈の最深部に位置する、熊の足が多々ある「ベテガリ岳」を登頂し、目標を達成されました。

その間、道なき道を訪ね、熊の出現の危機に遭遇するなど、幾多の困難を強行軍に耐え続けました。これはひとえに貴殿の鉄の意志と頑健な体力の賜物であると賞賛にたえます。

本人よりの登頂記録資料を参考に検定の無いことを確認し、その成果本日、バングル山岳会会長として、書を贈り、末永く成果を称えます。

平成二十二年十月二十四日

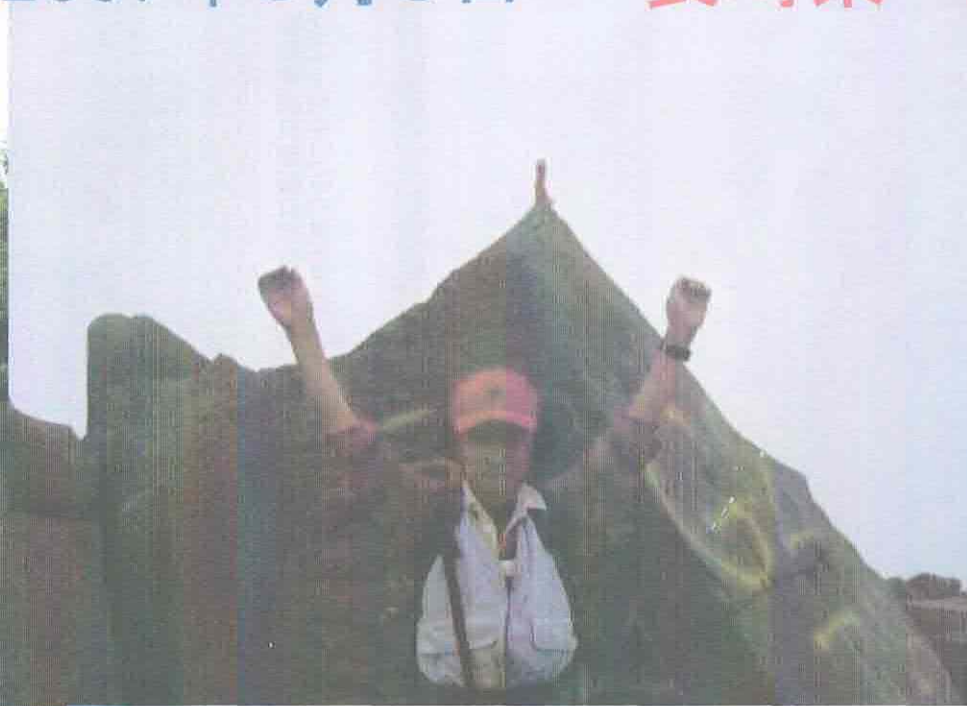
バングル山岳会 会



祝 都道府県最高峰全山完登

2007年6月3日 長崎県・平成新山

瀬川滋



普賢岳より

山から得た教訓で 諸君に伝えたいこと



1. 人に迷惑をかけない



2. 自己責任(自分のことは自分で)



いつまでも健康を保つ

一・十・百・千・万

1日一回感動

・・・一番難しい

十回大笑い

百回深呼吸

千字書く・・・スマホ(PC)入力でもいい

万歩歩く

八丈小富士、八丈富士

私の歩き

走り、競歩は？ 歩く、歩く、歩く

同じ歩きでも

可能な限り坂道を(山道を)

←身体への適度な負荷

バランス感覚醸成(ストック不持参)

坐禅の感覚で心のリラックス

←呼吸: 一気に吸って長く吐く

余計なことは考えない

(毎日登山の旗振山)